

実現する持続可能な交通体系の構築を目指して
 すべての市民が安心して生活でき、活力ある檜原市を

檜原市生活交通ネットワーク計画

本計画は、今後、進展する高齢化社会、都市の活力の維持・向上、観光活性化への対応として、だれもが安全に快適に移動できる公共交通環境の整備を図るための目標や基本方針を示し、これに資する新たな公共交通施策や活性化支援策の具体化を目的として策定しました。

- 方針 1 市民の移動の主目的である買い物および通院における公共交通の利便性向上
- 方針 2 隣接市町村・大型商業施設との連携による公共交通空白地域削減のための新しいバスアクセス施策の導入
- 方針 3 大型商業施設アクセスの自動車からバス交通への転換による渋滞緩和に資する施策の導入
- 方針 4 隣接市町村との連携によるコミュニティバスの観光周遊促進のための施策の導入
- 方針 5 観光来訪者の移動ニーズをもとにした効果的な情報提供による公共交通の利用促進
- 方針 6 公共交通の接続改善・情報提供によるシームレスな交通環境の実現
- 方針 7 継続的な事業実施のためのPDCAによる事業評価システムの導入

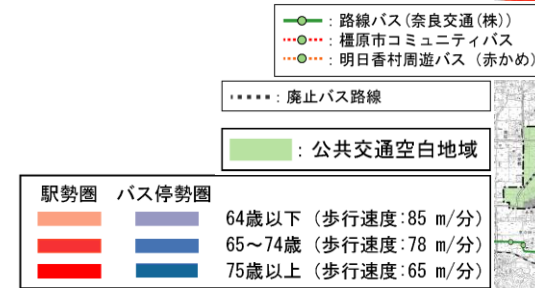
平成24年3月

檜原市地域公共交通会議

計画目標

檜原市の公共交通空白地域面積を削減します

一般的に、高齢者は、若年層に比べて、歩行する上での移動圏域が狭くなります。そこで、高齢化が進む本市の状況を踏まえ、公共交通サービス水準の向上を図ることで、公共交通空白面積を削減し、すべての市民が安心して生活できる持続的な交通サービスを確保します。



市民1人あたりの公共交通の利用回数を向上させます

檜原市における1日あたりの公共交通利用数(鉄道、路線バス、檜原市コミュニティバスの計)は47千回/日(平成21年度値)で、市民1人あたりに換算すると年間公共交通利用回数は137回/人です。檜原市の人口は、今後、減少すると予測されていますが、公共交通のサービス水準向上を図ることで、市民1人あたりの年間公共交通利用回数の向上を目指します。

事業スケジュール

平成24年度(2012年)から平成28年度(2016年)までの5年間で事業を実施します。PDCAサイクルによるマネジメントにより、評価(Check)及び見直し(Action)を行い、事業を推進します。

事業内容	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	前期	後期				
新たな公共交通施策						
新たなバス路線の運行 (御所市方面~大規模商業施設~奈良県立医科大学附属病院~近鉄大和八木駅)						
関係機関との準備・調整	●	●	●			
地域内フィーダー系統確保維持計画の策定	●	●	●			
待機場確保によるターミナル整備	●	●	●	●	●	●
新たなバス路線の運行				●	●	●
活性化支援策						
藤原宮跡と飛鳥地域における周遊観光アクセスの向上						
奈良文化財研究所都城発掘調査部(藤原宮跡資料室)へのコミュニティバス乗入れ	●	●	●	●	●	●
檜原市と明日香村のバス交通結節機能強化	●	●	●	●	●	●
藤原宮跡と飛鳥地域の観光施設を結ぶ公共交通の拡充	●	●	●	●	●	●
観光周遊促進のための企画チケット	●	●	●	●	●	●
バス交通の利用促進等						
バス運行情報案内の充実	●	●	●	●	●	●
バスマップ等によるバス交通の情報提供	●	●	●	●	●	●
地域に密着した広告媒体としてのコミュニティバス等の活用	●	●	●	●	●	●

檜原市地域公共交通会議 (事務局:檜原市市民経済部市民協働課)
 奈良県檜原市八木町1-1-18
 電話:0744-22-4001(代表) kyodo@city.kashihara.nara.jp

(※平成24年4月から事務局は市民文化都市協働課に変わります。)

新たな公共交通施策と活性化支援策

1 新たなバス路線の運行

- ・南西部地域で、買い物施設、駅や通院先等を結ぶバス路線を運行し、バス交通サービスを拡充します。
- ・バスターミナル整備により、近鉄大和八木駅周辺や県立医科大学附属医院への乗継ぎ機能を強化します。

- ハブ(乗り継ぎ)機能を持つイオンモール橿原のバスターミナル



2 奈良文化財研究所都城発掘調査部へのコミュニティバス乗入れ

- ・奈良文化財研究所都城発掘調査部(藤原宮跡資料室)の土・日・祝日開館に合わせ、橿原市コミュニティバスの乗入れを実施し、藤原宮跡と飛鳥地域における周遊観光アクセスを向上します。

- 奈良文化財研究所都城発掘調査部



3 橿原市と明日香村のバス交通結節機能強化

- ・橿原市コミュニティバスと明日香周遊バス「赤かめ」の結節機能強化と情報案内の拡充により、藤原宮跡と飛鳥地域間の周遊観光アクセスを改善します。

- 乗り継ぎ情報案内看板イメージ

藤原宮跡や橿原市昆虫館へは、橿原市コミュニティバスで!!
土・日・祝日は、明日香村方面へアクセスできます!!

主な観光スポットや施設

- ① 藤原宮跡
- ② 藤原宮跡資料室
- ③ 藤原宮跡
- ④ 藤原宮跡
- ⑤ 藤原宮跡
- ⑥ 藤原宮跡
- ⑦ 藤原宮跡
- ⑧ 藤原宮跡
- ⑨ 藤原宮跡
- ⑩ 藤原宮跡

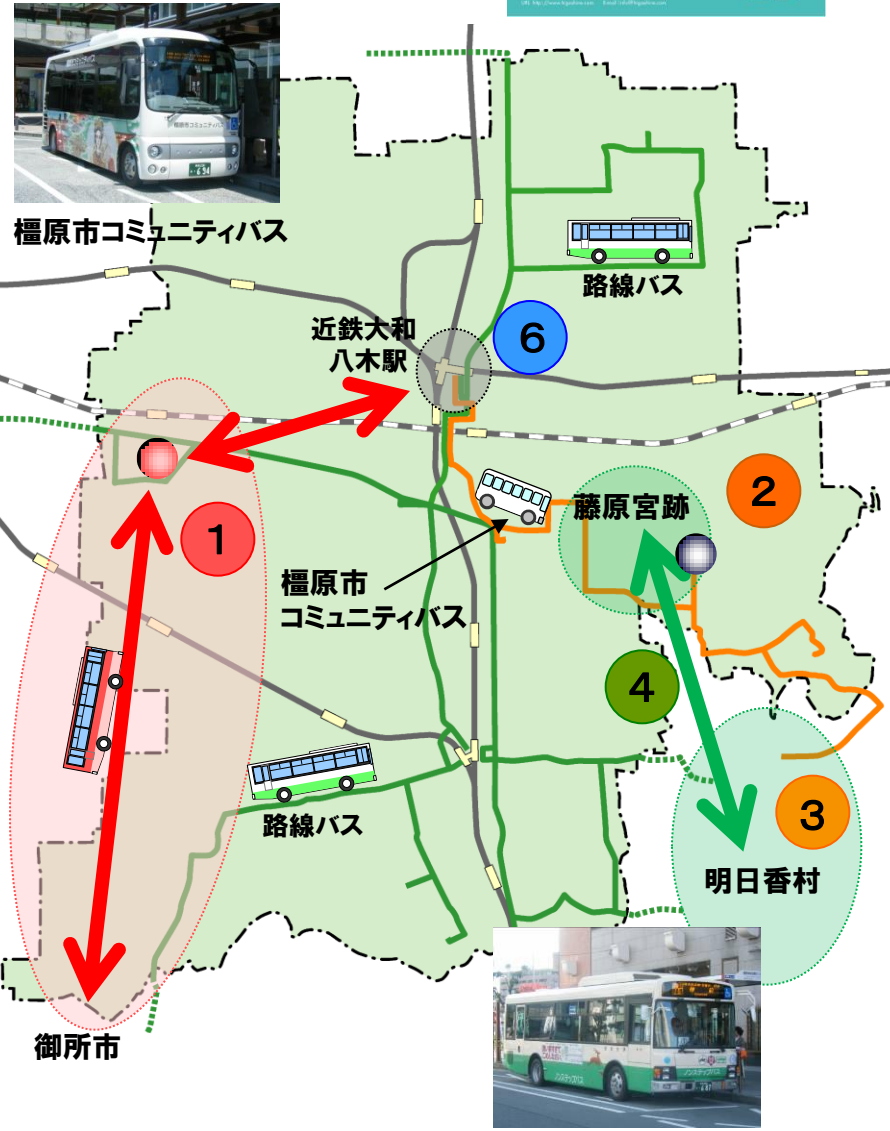
利用料金
橿原市コミュニティバス
大人(乗車まで) 170円
小児(乗車まで) 90円

明日香周遊バス「赤かめ」
橿原市から明日香村まで
大人(乗車まで) 250円
小児(乗車まで) 120円

4 藤原宮跡と飛鳥地域の観光施設を結ぶ公共交通の拡充

- ・観光シーズンを中心に、橿原市・明日香村の観光地を結ぶ公共交通を運行し、高齢者等が利用しやすい等今後求められるニーズに対応できる周遊観光アクセスを向上します。

- 事例:山形県東根市の観光乗合タクシー



明日香周遊バス「赤かめ」

5 観光周遊促進チケット

- ・イベントと連動した限定企画切符、観光施設と連携した施設料金割引など付加サービスのある企画チケットや明日香周遊バス「赤かめ」と連携した共通乗車券等により、観光周遊での公共交通の利用を促進します。

6 バス運行情報案内の充実

- ・駅前に、運行情報案内板を設置し、南北ターミナルから発車するバスの行き先、のり場や発車時刻等の情報を提供します。
- ・橿原市コミュニティバスから明日香周遊バス「赤かめ」への乗り継ぎ情報等、観光客を対象とした情報を提供します。

- 事例:バス案内情報システム(JR王寺駅)



7 バスマップ等によるバス交通の情報提供

- ・路線バスやコミュニティバス等のバス路線、ターミナルの乗り場、観光施設やハイキングコース等の情報を、日常利用と観光利用別に、バスマップやWEBで提供します。

- 事例:霧島遊めぐりバスマップ



8 地域に密着した広告媒体としてのコミュニティバス等の活用

- ・運賃以外の収入を確保し財政支出を抑えるため、コミュニティバスを地域に密着した広告媒体として活用します。

※今後、関係機関との連携を図り、事業実施に向けて作業を進めていきます。